

まちの今…これから

● 変わります!
 さらに やさしい まどぐちへ
 1月6日(月)から、これまで「分かりづらい」と言われることの多かった本庁舎の窓口が「分かりやすく」「やさしい」窓口生まれ変わります。
【該当窓口】資産税課、市民税課、収税課、市民課、保険年金課、こども課、保育課
【ポイント】
 ①引っ越しや結婚といったライフイベントに係る主な手続きが1階でできるようになります。
 ▶各窓口での手続きがワンフロアでスムーズに
 ▶こども課と保育課が2階から1階へ。お子様連れのお客様にやさしく
 ▶いくつもの書類に記入する手間を少なく
 ②住民票や税証明など、各種証明書の交付が一つの窓口で受けられます
 ③案内係がお客様の「分からない」を解消します
 ④案内表示を色分け。目的の窓口がすぐに分かります
 問合せ行革推進課へ内線7051

《行政評価・第三者評価の補足説明》
 前月号のこのコーナーに掲載した行政評価の第三者評価について、誤解を与える表現がありましたので補足して説明します。
 10月に実施した第三者評価は、平成24年度に実施した事業に対し、市が自ら行った評価結果が妥当かどうかを市民の視点から評価したものです。
 対象事業のうち「狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業」についての市の評価結果(25年8月実施)は、狭山元気大学事業との「棲み分け(共存)の検証が必要」というものでした。その後26年度から2つの事業の統合が方針決定されたことから、市の評価結果が「統合方針と整合しないため妥当とは考えられない」とされたものです。このことから、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業自体の妥当性やこれまでの成果、今後期待される役割などに言及したものではありません。
 問合せ行革推進課へ内線7051



コバトンお達者倶楽部がスタート

外に出かけて楽しみながら健康づくりを



コバトンお達者倶楽部カード(図1)
 ※カードお渡しの際に登録店をご案内します

近ごろ、さまざまなお店で取り入れられているスタンプカード。いつも行くお店でスタンプが集まれば、買い物にも張り合いが出てきませんか。外に出るだけで、気持ちもリフレッシュ。コバトンお達者倶楽部に参加して、気軽に健康づくりに取り組みましょう。

コバトンお達者倶楽部とは?

コバトンお達者倶楽部は、県が65歳以上の方を対象に実施する健康づくり事業の一つで、狭山市も1月1日から参加します。皆さん

は、登録店の中から自分が行くお店を1か所決めて、楽しく買い物をするだけ。「コバトンお達者倶楽部カード(図1)」にスタンプを押してもらって10個たまると、登録店から特典が受けられます。

参加するためには?

市内在住で65歳以上の方なら、どなたでも参加できます。

【参加方法】

- ①地域包括支援センターか市役所
- ②登録店の中からカード1枚につき、通うお店を1か所決めて買物をお願いします。3か月で10回を目標に歩きましょう
- ③スタンプの押印は、1か所で1日1回限り。カードの有効期間は3か月です

の介護保険課で「コバトンお達者倶楽部カード」を受け取ってください。一度にお渡しできるカードは3枚までです
 ※本人確認ができるものをご持参ください
 ※登録店の中からカード1枚につき、通うお店を1か所決めて買物をお願いします。3か月で10回を目標に歩きましょう
 ※スタンプの押印は、1か所で1日1回限り。カードの有効期間は3か月です
 ※スタンプ欄が10個すべて埋まり目標を達成した方には、登録店からプレゼント(割引や日用品など)がもらえます
 ※3か月以内にスタンプが10個たまらなかつた場合は、新しいカードで再チャレンジができます



コバトンお達者倶楽部カード配布窓口

配布窓口	所在地	電話番号
入間川・入間川東地域包括支援センター	入間川4-10-15	2955-1114
富士見・狭山台地域包括支援センター	中央4-27-13	2969-0080
入曾・水野地域包括支援センター	南入曾560-5	2950-5300
堀兼・奥富・新狭山地域包括支援センター	新狭山2-8-22	2933-7117
柏原・水富地域包括支援センター	広瀬東1-4-13	2933-6888
市役所 介護保険課	入間川1-23-5	2953-1111内線1554

窓口開設時間 9時～17時(介護保険課は8時30分～17時15分)
 休日 土・日曜日、祝日、年末年始

協力店舗を募集

介護保険課で登録ができます。「登録店ステッカー(図2)」をお渡ししますので、店頭に掲示してください。参加者の来店により、「お得意様」の増加が期待できます。また、登録いただいた皆さんには、高齢者を見守る「コバトンお達者倶楽部声かけ隊」としてご協力をお願いします。(任意)

問合せ 介護保険課へ内線1554

市長の主な動き

- 11/1…子ども・子育て会議
- 11/2…ふれあい市民懇話会
- 11/5～10…姉妹都市ワーキング市訪問
- 11/12…埼玉県市長会正副会長会議
- 11/17…育樹祭
- 11/19…埼玉県市町村職員共済組合組合会
- 11/20…定例庁議
- 11/22…埼玉県都市競艇組合協議会定例会
- 11/23…農業祭
- 11/25…定例記者会見
- 11/26…彩の国さいたま人づくり広域連合協議会定例会
- 11/27…市議会第4回定例会
- 11/28…埼玉県生涯学習審議会、全国基地協議会等合同役員会・要望活動

終戦後、国土は荒廃し、国を挙げて緑の再生を呼びかけていたのを覚えております。私も小学3年生の時に緑の週間の行事として、標語に応募し「木を植えて明るい緑の町や村」が入選し、県より賞状をいただきました。63年前の出来事でした。



狭山市長 仲川幸成 氏
 似顔絵・花倉正喜氏

市長随想 ⑩

全国育樹祭に参加して
 11月16・17日に全国育樹祭が熊谷市と寄居町を会場に行われました。54年前の昭和34年、全国植樹祭で寄居町金尾山に昭和天皇がヒノキの苗をお手植になられ、このたび孫の皇太子殿下によって育樹作業が行われました。本市には県指定天然記念物に指定されている「大ケヤキ」が廣瀬神社にあり、樹齢1千年と云われております。老樹の故、台風などにより時々大枝が折れることもあり、二世樹を育成しようとする協力のものと、失敗を重ねようやく幼枝からの発根に成功しました。式典では、「けやの森緑の少年団」が大切に育てた二世樹の苗木を農林水産大臣へ、そして大臣から茨城県桜川市「桃山中緑の少年団」へと託されました。この日は、狭山市から新たな地で根をはる「ケヤキ大使」が生まれた晴れがましい日でありました。